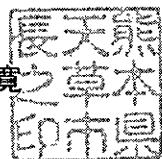


天道第580号
平成20年10月15日

国土交通省道路局長様

天草市長 安田 公寛



今後の道路行政についての意見・提案の提出について
時下、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。かねてより本市の道路整備
につきまして格別のご協力とご指導をいただき、厚くお礼申し上げます。
さて、平成20年9月19日付け国道企第37号でご依頼のあったこと
につきまして、別紙のとおり提出しますのでよろしくお願ひいたします。

<お問い合わせ>
天草市建設部道路整備課庶務係
担当 田中満朗
電話 0969-23-1111 (内線 2609)
fax 0969-24-4266

今後の道路行政についての意見・提案

様式①

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

熊本県天草市

(要望など)

- 道路整備が立ち遅れている地域の状況を踏まえ、必要と判断される道路は着実に整備していただきたい。
 - ・ 道路整備の優先順位を評価する際には、地域格差の観点から、その地域における他の道路や鉄道等代替手段の有無や高速道路のインターチェンジまでの所要時間なども考慮していただきたい。
 - ・ 少子高齢化や人口減少が進む地域では、住民の日常生活を支援する生活道路がこれまで以上に必要となる点を考慮して、維持管理面（舗装・道路構造物等の更新や橋梁補修・除草等）での費用に対する財政的支援を更に充実していただきたい。
- 道路整備のために必要な予算を確保していただきたい。

②一 1 地域の現状と抱える課題

熊本県天草市

○現状

■天草地域は、国立公園に指定されているすばらしい自然やキリシタンの歴史、南蛮文化、豊かな農林水産資源など、全国に誇れる資源を数多く有している。

「島」という特性を生かし、これらの資源や英知を活用することで、その潜在能力を十分に発揮できる可能性を持っており、その結果、都会では味わえないスローライフの実現、「島」の特色を生かした産業の創出や天草ブランドを確立することによる産業の振興といった取り組みも可能。

また、九州の各都市と連携を強化することで、新しい時代にふさわしい発展性のある拠点都市を築いていくこともできる。

■しかし、このようなかけがえのないすばらしい宝である地域資源を持ちながら、その素材を十分に生かしきれていない。

■その大きな要因として、道路整備の立ち遅れ

▽鉄道がなく、市の中心部から高速道路のインターチェンジまで120分を要するなど、高速交通体系から取り残されている上に、上島と下島との連結を1本の橋梁に依存。

▽天草地域は、熊本県が進めている熊本都市圏と県内主要都市間を90分で結ぶ「90分構想」が達成されていない唯一の地域。

▽他の地域と比べて特に低い国県道路の改良率。

一般国道	天草 91.6%	県計 91.7%
主要地方道	天草 55.9%	県計 72.4%
一般県道	天草 31.6%	県計 50.2%

○課題

■豊かな産業づくり

本市の発展を支え、活力ある地域をつくるには豊かな産業を興すことが重要。

▽農林水産業においては、①「安心・安全」な農林水産物づくりを推進するための基盤整備②地域の特性を生かし、環境保全に配慮した魅力ある農林水産業の振興
③天草の特性、知名度を生かしたブランドづくりと販売ルートの確立

▽商工業においては、

①既存商店街の活性化や地場産業の育成 ②企業誘致の推進

■魅力ある観光地づくり

観光は経済波及効果や雇用創出効果の高い産業であることから、天草をさらに魅力ある観光地とすることが重要。

①九州新幹線の全線開通を見据え、観光交流人口の拡大のためのアクセス強化
②市内の観光資源を効果的に結ぶ有機的ネットワークの構築
③イベントやフィルムコミッショニング支援などのソフト事業



■地域浮揚の力ギとなる道路整備

産業経済の振興を図り、九州西岸地域の交流拠点都市となるには、幹線道路の整備促進が不可欠。また、合併により広大な面積を有する本市の一体性を高めるためにも、道路の整備が必要。

①地域高規格道路「熊本天草幹線道路」の整備促進
②国県道の整備促進

②-2 地域の目指すべき将来像

熊本県天草市

第1次天草市総合計画 基本構想

まちづくりの基本方針「日本の宝島“天草”の創造」より

■ 心豊かに暮らせる市民都市■

市民が心豊かな生活を送るためにには、豊かな自然環境の中で健康で生きがいを持つ生活を送る必要があります。

そのため計画の策定や実施などの過程で市民参加や協働を進めていくとともに、自発的にまちづくりを進めるNPO法人やボランティア団体などへの支援、地域を支える人づくりを進め、一人ひとりが主体性を持ち、市民自治を目指したまちづくりを進めます。

一生を通して健康に過ごすことのできる健康寿命の延伸は、誰もが望む重要な課題です。そのため乳幼児期から高齢期に至るまで各年齢に応じた健康づくりを推進します。

また、すべての人が安心して暮らせるようにバリアフリー施策を進めるとともに、地域社会で連携協力体制をつくることにより地域で支え合うまちづくりを進めます。

天草は藍く美しい海と緑深い山々など豊かな自然に恵まれた島です。この自然環境や歴史、文化を大切にし、地域に根ざした美しい風景を残しながら、安全で快適に暮らせる住環境を整備し、心豊かに暮らせる市民都市を目指します。

■ 未来を拓く産業都市■

活力ある地域を形成するためには、産業を興し、雇用の場を創出する必要があります。このため、安全・安心な消費者のニーズに即した農林水産物の生産を促進するとともに、「天草」の名称を生かした商品のブランド化に努めます。また、第1次産業と観光産業の連携により、経営を複合化・多角化し、産業を持続的に発展させるとともに、地域雇用の場の創出に取り組みます。

さらに、商工業の振興と積極的な企業誘致を推進することにより雇用の確保や産業の振興を図り、未来を拓く産業都市を目指します。

■ 九州西岸地域の交流拠点都市■

本市の活性化のためには、他地域との人や物、情報などの交流を深めることが重要です。特に長崎県島原半島や鹿児島県長島などは、産業や文化などの面でかかりの深い地域であり、今後も市域や県域を越えた交流を進めていきます。また、広域的に他都市との連携を図ることにより、長崎～天草～鹿児島や阿蘇～熊本～天草の観光ルートの開発などを行い、観光による交流人口の拡大を図ります。

交流を拡大するためには、人や物、情報の移動時間の短縮や移動中の快適性の向上を図ることが重要であり、道路などの交通基盤整備や情報網の整備を図る必要があります。

このため熊本天草幹線道路の整備促進や、長崎県・熊本県・鹿児島県を結ぶ地域高規格道路の実現に向けた運動の推進についても連携して取り組みます。このほか、観光をはじめさまざまな情報の発信のための基盤整備を図り、九州西岸地域の交流拠点都市を目指します。

今後の道路行政についての意見・提案

様式④

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

熊本県天草市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・地域活力の向上	・熊本天草幹線道路の整備促進	<ul style="list-style-type: none"> ・アクセス時間の大幅な短縮 熊本～天草間が115分→75分へ ・地域間の人的・物的交流の拡大 ・九州新幹線全線開通効果の増大 ・観光産業や農林水産業の振興 ・企業誘致の促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・熊本県が進める「90分構想」の達成
・大規模な地震、火災に強い国土づくり等	・国県道路及び市道の整備促進	<ul style="list-style-type: none"> ・天草地域内の観光拠点へのアクセス向上による観光や農林水産業の振興 ・道路ネットワークの強化で市町合併後の一体性の高まりに寄与 	<ul style="list-style-type: none"> ・世界遺産登録を視野に入れた良好な道路景観の形成 ・輸送力強化により産地間競争力の向上
・計画的・効率的な維持管理や更新の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・第二天草瀬戸大橋の建設（現在、熊本天草幹線道路の調査区間） ・橋梁長寿命化修繕計画の推進 既存道路橋1,142橋 H21～H22で125橋の修繕計画策定予定 	<ul style="list-style-type: none"> ・上島と下島との連結を1本の橋梁（昭和49年架設）に依存している現状 →代替路線が実現し、慢性的渋滞が解消 →災害発生時の緊急輸送や支援活動のための道路が確保 ・橋梁の長寿命化 ・修繕、架替えに要する費用の縮減 ・地域道路網の安全性、信頼性の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化の進展により、日常生活を支える生活道路はこれまで以上に必要 (市道総延長 2,065km) ・長寿命化修繕計画に基づいて行う定期点検・修繕・架替事業に対する国の財政的支援の拡大に期待